

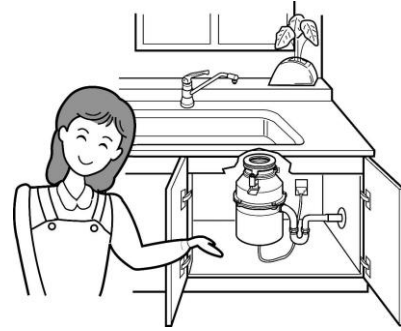
ディスポーザ

取扱説明書

型名

YD200BP (手動給水)

YD200BPA(自動給水)



このたびはディスポーザをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
とくに、「安全上のご注意」(1～3ページ)は、必ずご理解していただき、お守りください。
お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

ディスポーザは、家庭で出される生ごみを粉砕し、水とともに専用の排水管に流し出す装置です。

YD200BP : 手動で給水するタイプのディスポーザです。

YD200BPA : ディスポーザ運転時に水栓から自動で水が流れるタイプのディスポーザです。

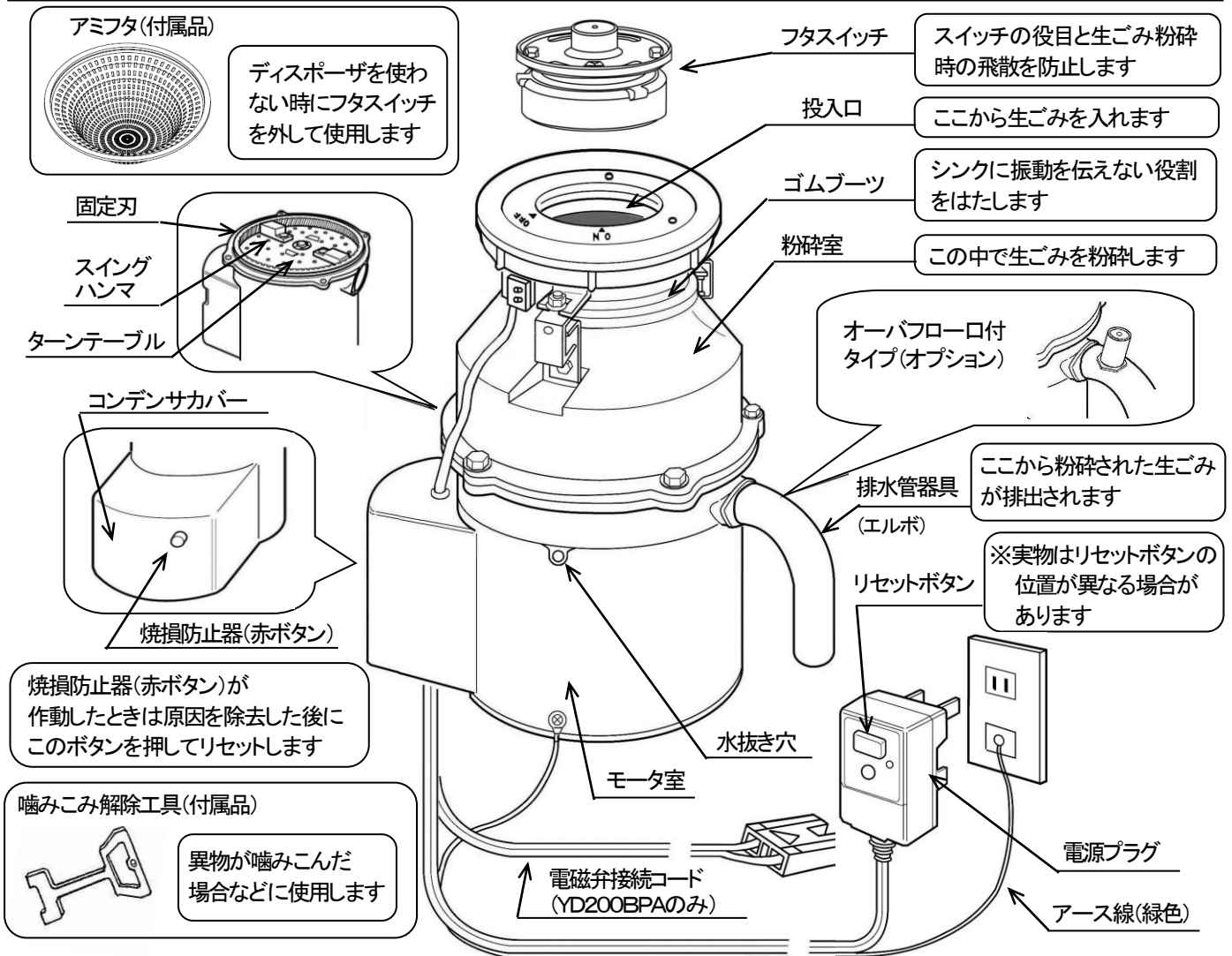
一部の指定外地域を除き、ディスポーザ単独での使用はできません。

ディスポーザ排水処理槽との併用でのみ使用できます。

もくじ

	ページ
● 各部の名称とはたらき	1
● 安全上のご注意	1
● ご使用前に	3
● 粉砕物についてのご注意	4
● ご使用方法(YD200BP)	5
● ご使用方法(YD200BPA)	7
● 運転後、粉砕室に生ごみが残っている場合	9
● 上手な使い方	9
● ディスポーザを使わない時	9
● お手入れ方法	10
● 異物が噛みこんだ場合の復旧方法	12
● 故障かなと思ったら	13
● 仕様	14
● アフターサービスと保証	15

各部の名称とはたらき



安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に必ずよく読んで上で、正しくお使いください。

ここでは人身事故や家財の損害を未然に防止するために必ずお守りいただく内容を説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



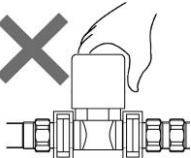

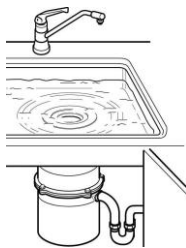
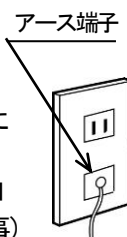

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

警告

	<p>●電源コードを破損するようなことはしないでください。 〔改造する、傷つける、ねじる、引張る、〕 〔熱器具に近づける、はさむなど〕</p>  <p>感電・ショート・火災の原因になります。 電源コードの修理・改造・固定は専用相談窓口 に依頼してください。</p>	 <p>●分解・修理・改造は絶対に行わない いでください。</p>  <p>火災・感電・誤作動・ケガの原因になります。 修理は専用相談窓口 に依頼してください。</p>
	<p>●本体やコード類を濡らさないでください。</p>  <p>漏電・感電・誤作動の原因になります。</p>	 <p>●電源プラグにホコリや水滴など が付着していないか確認の上、コン セントに漏電保護プラグをしっかりと 差し込んでください。</p> <p>・ホコリや水滴が付着したり、コンセントに漏電 保護プラグがしっかりと差し込まれていない場 合、火災、感電の原因になります。</p>
	<p>●電磁弁(YD200BPA)の分解・ 修理・改造は絶対に行わないで ください。</p> <p>火災・漏電・感電・ケガの 原因になります。 修理は専用相談窓口 に依頼してください。</p>  <p>電磁弁</p>	 <p>●交流100V以外では 使用しないでください。</p> <p>・火災、感電、故障の原因に なります。</p>  <p>交流100V</p>
	<p>●シンクに水を溜めている ときは、絶対に運転 しないでください。</p> <p>・本体やシンクが大きく振動し、 本体が落ちて、ケガをしたり、 シンクの破損・水漏れの原因 になります。</p> 	 <p>●アース線を確実に取 付けてください。</p> <p>・故障や漏電の時に感電する原因に なります。 ・アースの取り付けは専用相談窓口 にご相談ください。(D種接地工事)</p>  <p>アース端子</p>
	<p>●断水時はディスポーザを使用しないで ください。</p> <p>・配管の詰まりの原因になります。</p>	 <p>●粉碎音がする間は、フタスイッチを 開けないでください。</p> <p>・粉碎物が飛び出してケガの原因になります。</p>
	<p>●濡れた手で電源プラグの抜き差しを しないでください。</p> <p>感電の原因になります。</p> 	 <p>●フタスイッチには磁石が内蔵されて います。</p> <p>・時計等、磁石の影響を受けるものを近づけ ないようにしてください。 ・金属が付いた場合はきれいに取り除いて ください。</p>

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

警告

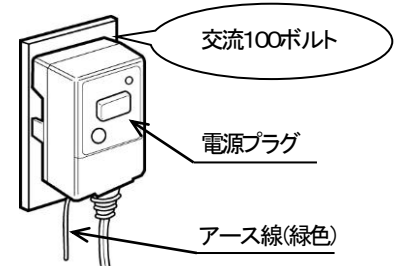
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体側面下部にある焼損防止器の赤ボタンを、テープなどで固定しないでください。 ・モータに異常負荷がかかり、火災の原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●磁石を使用した製品を投入口に近づけないでください。 ・フタスイッチが投入口に収まっていないときにディスポーザが誤作動しケガの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスポーザを運転するときは、必ず水を流してください。 ・水を流さずに運転すると、スイングハンマとターンテーブルの接触によるキズが大きくなり、騒音や振動が大きくなる原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●投入口の中に手を入れないでください。特にお子さまには注意してください。 ・粉碎部内のスイングハンマなどで、手にケガをする原因になります。 
	<ul style="list-style-type: none"> ●モータに直接手を触れないでください。 ・運転後は高温になっているため、やけどの原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●タコ足配線は絶対にしないでください。 ・他の器具を併用すると分岐コンセント部分が異常発熱して発火の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●運転の際は毎分8リットルの給水を行ってください。(水量の目安は運転中、フタスイッチの表面に水が溜まるぐらいです。) ・水量が少ないまま運転し続けると、配管の詰まりの原因になります。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●異物を取り除くときは、あらかじめコンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トンガなどで取り出してください。嘔みこんでいる場合は、『異物が嘔みこんだ場合の復旧方法』(12ページ)を参照してください。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●シンクに60℃以上の高温水を流さないでください。 ・配管部品の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴムブーツ部はフォーク・ナイフ・包丁・串類などの鋭利なものや固いものによって損傷する恐れがあります。ご使用中および清掃の際は十分ご注意ください。 ・水漏れや誤作動の原因になります。 ●シンク下にある排水トラップやコード・ホース類に物が触れないように十分ご注意ください。 ・水漏れの原因になります。 		

ご使用前に

●アース線と電源の確認

アース線(緑色)がコンセントのアース端子に確実に接続されていることを確認してください。

電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。



粉碎物についてのご注意

投入できるもの

野菜くず、果物くず、ご飯、魚肉、肉類、小魚の骨、手羽元などの鶏の骨、
昆布などの海藻類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、お茶葉、残飯など



※同一生ごみ、もしくは多量の生ごみ・卵の殻の投入は排水配管つまりの原因になります。

投入できないもの

 注意		<p>●投入口に、次のような物を絶対に入れないでください。 -ディスポーザや配管が劣化し、故障や水漏れなどの原因になります。</p>
<p>強い繊維質のもの、貝殻類、粉類 竹の子の皮、トウモロコシの皮・芯、栗の皮、 多量の枝豆の皮、パイナップルの芯・皮、生け花、 バナナのヘタ、アサリ・シジミ等の貝殻、 多量的小麦粉等の粉類など</p>		<p>不具合例 ディスポーザのスイングハンマや固定刃を傷めたり、排水配管つまりの原因になります。</p>
<p>かたい生ごみ、やわらかい生ごみ 牛骨、豚骨、中大型魚の頭や骨、多量の生米、 調理前のかたい餅、かに類の殻、生魚の皮、 桃・柿などのかたい種、生肉の皮など</p>		<p>不具合例 ディスポーザのスイングハンマや固定刃を傷めたり、粉碎されずに粉碎室内部に滞留する原因になります。</p>
<p>食品以外のもの 金属、プラスチック、陶器類、石、砂、ガラス、 紙、木類、ラップ、ビニール、たばこの吸いがら、 ゴム類、毛髪、ペットの毛など</p>		<p>不具合例 ディスポーザのスイングハンマや固定刃を傷めたり、故障の原因になります。</p>
<p>食品以外のもの(鋭利なもの、かたいもの) フォーク、ナイフ、包丁、串類など</p>		<p>不具合例 ゴムブーツが損傷し、水漏れや誤作動の原因になります。</p>
<p>薬品類、高温のもの 殺虫剤、除草剤、酸・アルカリ性洗剤、 熱湯、熱い天ぷら油、熱いカレーなど</p>		<p>不具合例 ディスポーザや排水配管が劣化して水漏れの原因になります。 また、処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。</p>

●投入口に、次のような物を多量に入れないでください。

食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

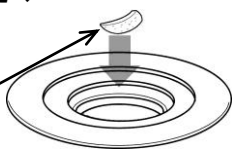
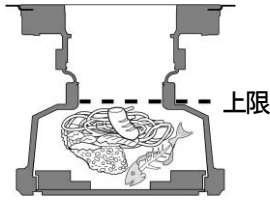

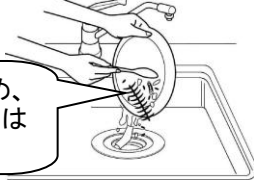


サラダ油、天ぷら油、台所用洗剤、酒類、
多量の生クリームやマヨネーズなど



不具合例
処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。

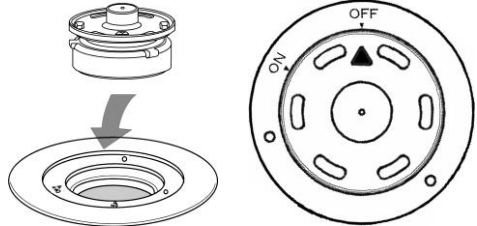
ご使用方法 (YD200BP)



1 生ごみを投入口から入れる

<p>大きな生ごみは、できるだけ小さく(2~3cm程度)刻んで投入してください。 2cm~3cm程度</p>  <p>正常に粉碎できない原因になります。</p>		<p>1回の処理容量の目安は右図の上限位置までにしてください。</p>  <p>生ごみの種類によりますが、目安は約200~500gまでです。</p>
注意	 <ul style="list-style-type: none">● ディスポーザに投入してはいけないものがあります。投入してはいけないものが混ざっていないか確認してご使用ください。(5ページ参照) <p>異常や故障を防ぐため、粉碎できない生ごみは入れないでください。</p> 	
	 <ul style="list-style-type: none">● 生ごみは無理に押し込まないでください。<ul style="list-style-type: none">・モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になります。・ゴムブーツに傷がつき、水漏れや誤作動の原因になります。● 運転の繰り返しは5分(5回)を超えて行わないでください。 <p>(悪い例)</p> 	

2 投入口にフタスイッチをはめ込む

フタスイッチの▲マークを投入口のOFF位置に合わせてはめ込む。






警告	 <ul style="list-style-type: none">● 磁石を使用した製品を投入口に近づけないでください。<ul style="list-style-type: none">・フタスイッチが投入口に収まっていないときにディスポーザが誤作動し、ケガの原因になります。
注意	 <ul style="list-style-type: none">● フタスイッチには磁石が内蔵されています。時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないでください。● 金属がついた場合はきれいに取り除いてください。● シンクに連続して60℃以上の高温水を流さないでください。<ul style="list-style-type: none">・トラップの変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。

3 水を流す (必ずディスポーザを運転する前に行ってください)

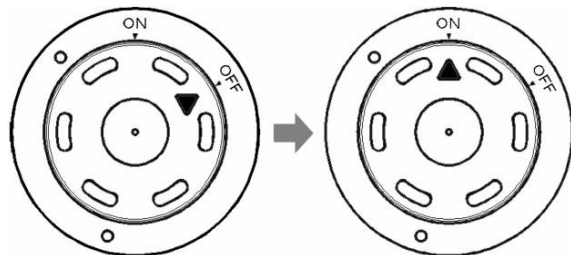
- 水栓を開き給水を行ってください。
(水量の目安は運転中、フタスイッチの表面に水が溜まるぐらいです。)



 注意		<ul style="list-style-type: none"> ● ディスポーザを運転するときは、必ず水を流してください。 ・水を流さずに運転すると、スイングハンマとターンテーブルの接触による傷が大きくなり、騒音や振動が大きくなる原因になります。 ● 水栓を開き毎分8リットルの給水を行ってください。 ・水の量が少ないと、配管のつまりの原因になります。 ● 浄水器付水栓の場合は、「原水」にして給水を行ってください。 ・「浄水」で使用すると水の量が少なくなり、配管のつまりの原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 断水時はディスポーザを使用しないでください。 ・配管のつまりの原因になります。 ● シンクに、連続して60℃以上の高温水を流さないでください。 ・トラップの変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。

4 フタスイッチをON位置に合わせる

- フタスイッチを反時計方向(左方向)に回転させ、▲マークをON位置に合わせる。
- 粉碎動作開始から、約1分で粉碎動作を自動停止します。



(この位置でフタスイッチを挿入します)

(運転を開始します。)

※運転中、フタスイッチ上面に若干水が溜まることありますが、シンクより水が溢れ出す危険性はありません。



- 粉碎音がある間は、フタスイッチを開けないでください。
・粉碎物が飛び出してケガの原因になります。

5 粉碎が終わったら

- 音がしなくなったら、フタスイッチの▲マークをOFF位置に合わせる。



- フタスイッチの▲マークをOFFにした後、回転が完全に停止するまで2～3秒かかります。その間はフタスイッチを開けないでください。
- 投入口の中に絶対手を入れしないでください。
・粉碎部内のスイングハンマなどで、手にケガをする原因になります。

6 水栓を閉め、水を止める

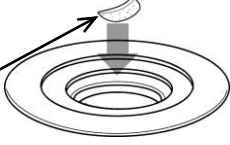
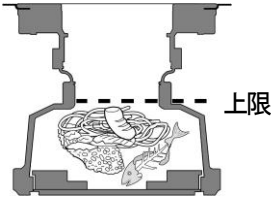

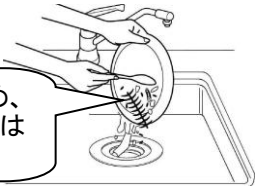


- ディスポーザの運転が終了したら、水を止めてください。



- 停止後、しばらく(5秒以上)水を流してください。
・すぐに水栓を閉めると粉碎物がディスポーザ本体内に残ることがあります。

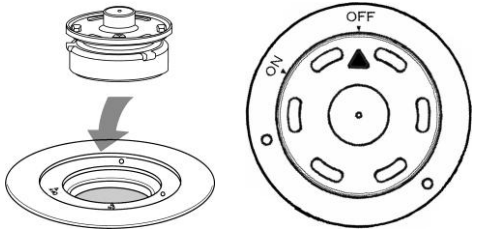
ご使用方法 (YD200BPA)

1 生ごみを投入口から入れる

<p>大きな生ごみは、できるだけ小さく (2~3cm 程度) 刻んで投入してください。</p> <p>2cm~3cm 程度</p>  <p>正常に粉碎できない原因になります。</p>		<p>1回の処理容量の目安は右図の上限位置までにしてください。</p>  <p>生ごみの種類によりますが、目安は約200~500g までです。</p>
<p>注意</p>	<p>● ディスポーザに投入してはいけないものがあります。投入してはいけないものが混ざっていないか確認してご使用ください。(5ページ参照)</p> 	<p>異常や故障を防ぐため、粉碎できない生ごみは入れないでください。</p> 
	<p>● 生ごみは無理に押し込まないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になります。 ・ゴムブーツに傷がつき、水漏れや誤作動の原因になります。 <p>● 運転の繰り返しは5分(5回)を超えて行わないでください。</p> 	<p>(悪い例)</p> 

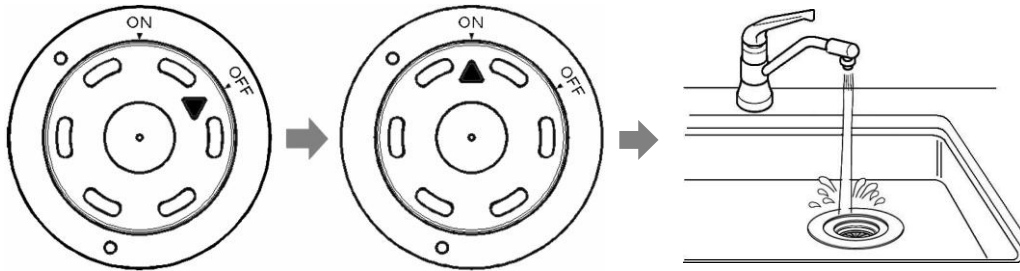
2 投入口にフタスイッチをはめ込む

フタスイッチの▲マークを投入口のOFF位置に合わせてはめ込む。



<p>警告</p>	<p>● 磁石を使用した製品を投入口に近づけないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フタスイッチが投入口に収まっていないときにディスポーザが誤作動し、ケガの原因になります。
<p>注意</p>	<p>● フタスイッチには磁石が内蔵されています。時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないでください。</p> <p>● 金属がついた場合はきれいに取り除いてください。</p> <p>● シンクに連続して60℃以上の高温水を流さないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラップの変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。

3 フタスイッチをON位置に合わせる



(この位置でフタスイッチを挿入します) (水が自動で流れた後、粉碎がはじまります。)

- フタスイッチを反時計方向(左方向)に回転させ、▲マークをON位置に合わせる。
- 水が自動で流れた後、しばらくしてからディスポーザの粉碎動作(モータ運転)を開始します。
- 粉碎動作開始から、約1分で粉碎動作を自動停止します。

※運転中、フタスイッチ上面に若干水が溜まることありますが、シンクより水が溢れ出す危険性はありません。

<p>警告</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●粉碎音がある間は、フタスイッチを開けないでください。 ・粉碎物が飛び出してケガの原因になります。
<p>注意</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●毎分8リットルの水が流れているか確認してください。 (水量の目安は運転中、フタスイッチの表面に水が溜まるぐらいです。) ・水の量が少ないと、配管のつまりの原因になることがあります。 <p>※水量が適量でない場合は、本体に貼ってある専用相談窓口にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浄水器付水栓の場合は、「原水」にして使用してください。 ・「浄水」で使用すると水の量が少なくなり、配管のつまりの原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ●断水時はディスポーザを使用しないでください。 ・配管のつまりの原因になります。 ●水栓を使用している状態と同時に運転を行わないでください。 ・水はけが悪くなり、シンクに水が溜まる原因になります。






4 粉碎が終わったら

- 音がしなくなったら、フタスイッチの▲マークをOFF位置に合わせる。
- ディスポーザ停止後、しばらくしてから水が止まります。

<p>警告</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●フタスイッチの▲マークをOFFにした後、回転が完全に停止するまで2~3秒かかります。その間はフタスイッチを開けないでください。 ●投入口の中に絶対手を入れないでください。 ・粉碎部内のスイングハンマなどで、手にケガをする原因になります。
------------------	--	--

運転後、粉碎室に生ごみが残っている場合




●ご使用方法の2項『投入口にフタスイッチをはめ込む』より、繰り返し操作してください。

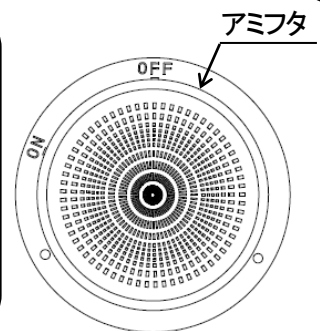
 警告		<p>●投入口の中に手を入れないでください。 ・粉碎室内のスイングハンマなどで、手にケガをする原因になります。</p>
 注意		<p>●運転の繰り返しは5分(5回)を超えて行わないでください。 ・モータが過熱し、故障の原因になります。 ※30分程度待ってからお使いください。</p>
		<p>●モータに直接手を触れないでください。 ・運転直後は高温になっているため、やけどの原因になります。</p>

上手な使い方





- 大きいものや、かたいものは、小さく切ってから投入すると処理しやすくなります。
- 同一生ごみや、軽いもの(お茶の葉など)は、ほかの生ごみと混ぜると処理しやすくなります。
- ディスポーザをこまめに使用し、使用後は水を多めに流してください。(使用の目安は1日1回以上)
※粉碎室内に錆・水垢などがつきにくくなります。

ディスポーザを使わない時

 注意		<p>●ディスポーザを使わない時は、フタスイッチを外してアミフタを投入口にはめ込んでおいてください。 ・スプーンやフォーク等の金属類が粉碎室内に落下し、故障や水漏れ、誤作動の原因になります。</p>
		<p>●アミフタのはめ込みや取り外す際は、金属の角や接合部に十分に注意してご使用してください。 ・金属の角や接合部などで、手にケガをする原因になります。</p>



注意

	<p>●ディスポーザを長期間ご使用にならない場合、お手入れ方法(粉碎室(P11))を参考に、できるだけ入念にお手入れをしてください。さらに可能であれば1ヶ月に1回程度、毎分8リットルの水を流しながら約1分間運転してください。</p>
	<p>●普段、在宅中でもディスポーザをほとんどご使用にならない場合、細かな粉碎カスなどにより、つまりや臭いの原因になりますので、お手入れ方法(粉碎室(P11))を参考に週に1回程度のお手入れを行ってください。</p>
	<p>●粉碎室に生ごみを入れたまま長期間放置しないでください。 ・金属部分が腐食され、水漏れや錆発生の原因になります。</p>
	<p>●付着したゴミなどを取り除く際、アミフタを極端にたたいたり力をかけたりしないでください。 ・破損の原因になります。</p>

お手入れ方法

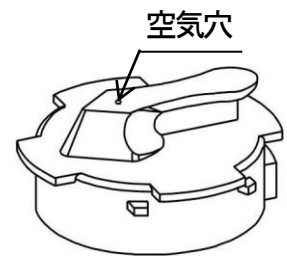
●フタスイッチ

フタスイッチの空気穴にごみ等が詰まっている場合は、つまようじ等の細い物についてください。

※空気穴が詰まっていると排水が悪くなる原因になります。

スポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。

特にフタ裏側には、粉碎された生ごみが付着している場合があります。



●粉碎室

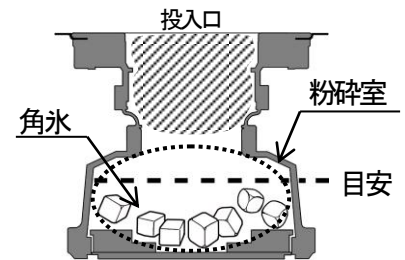
生ゴミを粉碎室に残ったまま放置されると、粉碎室内の錆や汚れ、黒カビ等の糸状菌が発生する原因となります。

週に1回程度、右図のように角氷を粉碎室に投入して、運転してください。

細かなカスが取り除かれます。

また、ニオイが気になる場合は、生ごみを入れずに毎分8リットルの水を流しながら、約1分間運転してください。

粉碎しきれなかった生ごみが残っている場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、手を粉碎室に入れずに菜箸・トンガなどで残っている生ごみを取り出してください。



⚠注意



●ディスポーザのご使用をされなくても定期的な清掃は実施ください。

・日常の洗い物等で細かい残りカスが粉碎室に付着している可能性があり、この付着した細かい残りカスが機器の錆や黒カビの発生原因になったり、悪臭発生の原因になります。

●投入口周り

投入口周りは、台所用中性洗剤をご使用いただき、柔らかいスポンジ等で定期的に清掃してください。特に油を含む生ごみを粉碎後、油膜等が投入口に付着している場合があります。

⚠注意

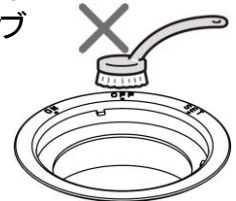
中性洗剤



●投入口周りの清掃の際は、金ブラシ等の鋭利なものや硬いものを使用せず、スポンジや樹脂ブラシ等の柔らかいものを使用してください。

・投入口のゴムブーツ部が損傷した場合、損傷部に汚れが付着し、黒カビや臭い等の発生の原因になります。

・ゴムブーツ部の破れ等が発生した場合は、水漏れの原因となります。



●中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。

・処理槽で正常な処理ができなくなる他、ディスポーザの金属部分が変色し、腐食(錆)を引き起こし、水漏れの原因になります。

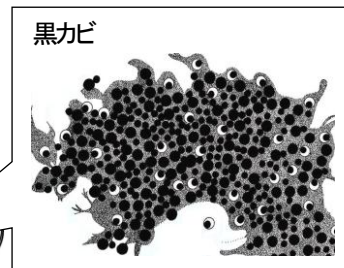
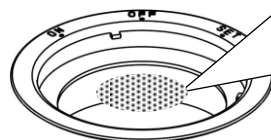


●黒カビ等の発生があった場合

万が一、右図のように投入口や粉碎室内に黒カビ等が発生した場合は、黒カビ発生箇所に給湯器の温度設定を50°C~60°Cにした熱いお湯※を1分間程度満遍なく掛け続けてください。

その後引き続き、定期的な清掃方法で記載している清掃を実施ください。

※やけどには十分にご注意ください。



●本体・電源プラグ・排水管

クレンザー・シンナー・アルコール・ベンゼン・灯油などを使わず、柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

注意



●ディスポーザ本体及び排水管類へ石油(灯油を含む)・有機溶剤(ベンゼン・シンナーを含む)・オレンジ成分を含む洗剤や殺虫剤を塗布しないでください。
・樹脂部品が破損し、水漏れの原因となります。



●運転直後は、本体が高温になっているため、本体に触れないでください。
・やけどの原因となります。

●配管

週に1回程度、鍋や洗いおけなどに多めに溜めた水を一気に流してください。

配管に溜まりやすいものが流れます。

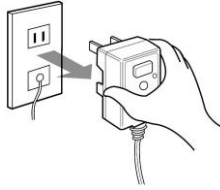
注意



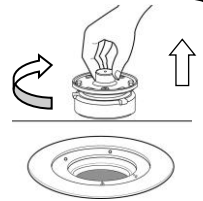
●溜め水を流す際は、アミフタを投入口にはめ込んでおいてください。
・スプーンやフォーク等の金属類が粉碎室内に落下し、故障や水漏れの原因となります。

異物が噛みこんだ場合の復旧方法

1. 電源プラグを手で持ってコンセントから抜きます。



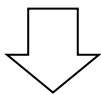
2. フタスイッチの▲マークをOFF位置に合わせて、投入口から外してください。



3. 投入口の中央より垂直に『噛みこみ解除工具』をターンテーブルに当たるまで挿入します。

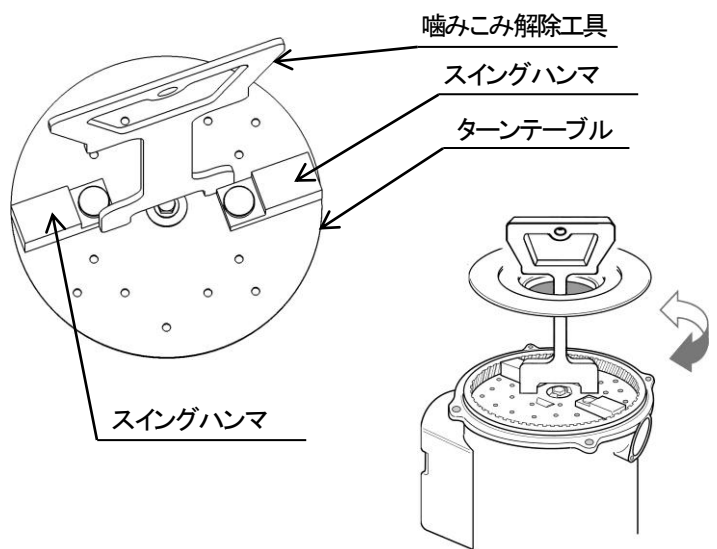


4. 『噛みこみ解除工具』を軽く左右方向いずれかに回転させると、両端部分が本体内部のスイングハンマに引っかかります。



スイングハンマに引っかけた状態で強く回して、ターンテーブルが左右方向に動くことを確認してください。

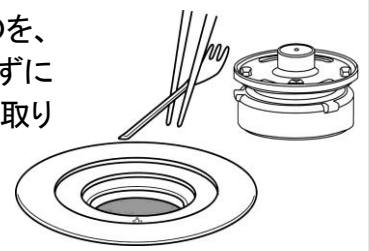
※かたい場合は、同じ要領で反対方向に回してください。



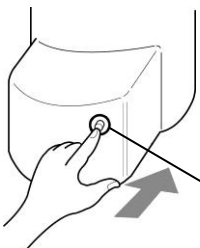
5. 『噛みこみ解除工具』を投入口より抜いてください。



6. 噛みこんでいたものを、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。



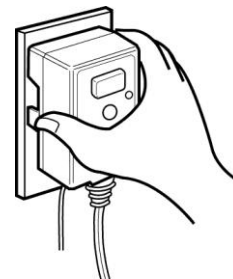
7. 本体の底面にある焼損防止器(赤ボタン)をカチッと音がするまで押し込みます。



※焼損防止器(赤ボタン)を押してもカチッと音がしない場合はすでに押し込まれた状態ですので、そのままにします。

焼損防止器(赤ボタン)

8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



※異物が噛みこんでモータに負荷がかかると、モータを保護する安全機構が作動します。

※噛みこみ停止は本体故障ではありません。

その為、保証期間中であっても、噛みこみ・つまりに伴う技術員の派遣及び修理は有償となります。

故障かなと思ったら

下記の表に従って調べてください。

【現象】	【原因】	【処置】
スムーズに排水され ない。	粉碎室内の排水穴が詰まっている。	水を流しながら、生ごみを入れずに運転・停止を数回繰り返してください。
	フタスイッチの空気穴が詰まっている。	つまようじ等の細いものでついでください。 (11ページ参照)
	生ごみを入れすぎている。	投入量を少なくしてください。
起動しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを、コンセントに確実に差し込んでください。
	投入口にフタスイッチが取付けられていない。	フタスイッチの▲マークを投入口のOFF位置に挿入した後、ON位置に合わせてください。
	フタスイッチがON位置に合っていない。	
	電子タイマが作動し、自動停止している。	フタスイッチを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせて起動してください。
	本体の焼損防止器(赤ボタン)が働いている。	『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』の手順に従って焼損防止器の作動を解除してください。(12ページ参照)
	焼損防止器(赤ボタン)の作動を解除しても起動しない。	モータの過熱が考えられますので、モータが冷えるのを待って(30分程度)再度、運転してください。
	ご家庭のディスポーザへの供給ブレーカがOFFになっている。	ご家庭のブレーカをONにしてください。
	運転中に電源が切れた。 (落雷、停電等)	フタスイッチを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせてください。
	漏電保護プラグが働いている。	漏電保護プラグのリセットボタンを押してください。(1ページ参照)
モータは回るが 粉碎しない。	粉碎室に大きな生ごみが残っている。 (6、8ページ参照)	コンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。
	粉碎室に処理できないものが滞留している。	
	スイングハンマが動かない。	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
うなり音はするが 起動しない。	粉碎室に異物が噛みこんでいる。	『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』の手順に従って解除してください。(12ページ参照)
大きな音がする。	投入できないもの(スプーン等の金属や大きな貝殻等)が入っている。	コンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。
粉碎室内部に錆が 発生している。	長期間使用せずに放置したり、粉碎室内に金属粉などが入って放置すると粉碎室内に錆が発生することがあります。 また、酸・アルカリ性洗剤およびパイプ洗浄剤などを使用すると錆が発生することがあります。	軽度な錆は製品に悪影響を及ぼすことなく、生ごみを粉碎することで徐々に取り除かれます。
水漏れする。	モータ部(水抜き穴)から漏水している。 (1ページ参照)	オイルシールが磨耗していますので専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。

【現象】	【原因】	【処置】
水漏れする。	シンク接続部から漏水している。	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
	ゴムブーツ部から漏水している。	
	排水管部から漏水している。	
	ディスポーザ本体から漏水している。	
フタスイッチが取れない。	スプーン等の異物が噛みこんでいる。	無理にフタスイッチを動かそうとすると、ゴムブーツ、フタスイッチが破損し水漏れ、誤作動の原因になりますので、専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
フタスイッチなしでディスポーザが作動する。	電子部品が故障している。	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。

YD200BPAの場合

【現象】	【原因】	【処置】
ディスポーザは起動するが水が出ない。	給水管の止水栓が閉まっている。	給水管の止水栓を開いてください。
	電磁弁接続コードが電磁弁に接続されていない。(1ページ参照)	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
	電磁弁内に異物がつまっている。	
ディスポーザ停止後しばらくしても水が止まらない。	水栓を使用している。	水栓を止めてください。
	電磁弁内に異物がつまっている。	ON・OFFを何度か繰り返しても改善されない場合は、給水管の止水栓を閉めて、専用相談窓口にて点検・修理を依頼してください。

異常な現象が直らない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ディスポーザ本体に貼ってある専用相談窓口へご相談ください。

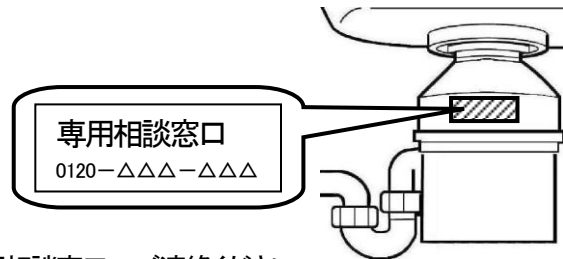
仕様

1. 使用可能水温 …………… 0℃～40℃
2. 定格周波数 …………… 50Hz/60Hz
3. 電源容量 …………… 15A
4. 定格電圧 …………… AC100V
5. 電動機形式 …………… コンデンサ運転式単相誘導電動機
6. 極数・定格出力 …………… 4極・200W
7. 定格消費電力 …………… 330/400W(50Hz/60Hz)
8. 連続運転時間 …………… 5分(電子タイマ制御による自動停止機能付き)
9. 粉碎部容量 …………… 約1.5L(1回あたりの処理容量:約200g～500g)
10. 外形寸法 …………… 幅201mm×奥行き270mm×高さ327mm
11. 質量 …………… 8.5kg
12. 安全装置 …………… 焼損防止器・サーマルプロテクタ
13. 電源コード …………… 長さ約1m
14. アース線 …………… 長さ約1m、緑色
15. 排水管 …………… 排水口φ38

アフターサービスと保証

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

ディスプレイ本体に貼ってある専用相談窓口にご相談ください。



修理を依頼されるとき

- 13～14ページの「故障かなと思ったら」の項をご確認後、専用相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間中であっても、保証書の規定に沿わない場合や噛みこみ・つまり・投入できないものを入れた場合等に伴う技術員の派遣および修理は有償となります。
- 保証期間が過ぎ、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。
- 修理料金のしくみ
修理料金は、作業費・部品代・出張費などで構成されています。
作業費：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。
出張費：お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間です。
補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

安永エアポンプ株式会社

本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢三丁目4-1
TEL 03-3621-3317 FAX 03-3625-8108
名張事業所 〒518-0444 三重県名張市箕曲中村920
TEL 0595-64-0411 FAX 0595-64-4165
受付時間 9:00 ~ 17:00(土曜・日曜・祝日は除く)

872YD200BPMJ 2026.3